

計 算 書 類

(第 19 期)

2019 年 4 月 1 日 から

2020 年 3 月 31 日 まで

アストライ債権回収株式会社

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,829,461	流動負債	139,010
現金及び預金	73,090	一年内返済予定の長期借入金	100,000
買取債権	3,515,446	未払金	18,029
買取不動産	195,785	未払法人税等	4,067
前払費用	1,878	未払費用	1,355
その他	43,261	賞与引当金	9,517
固定資産	35,323	その他	6,040
有形固定資産	2,296	固定負債	2,251,000
建物	853	長期借入金	2,251,000
器具備品	1,443	負債合計	2,390,010
無形固定資産	15,289	(純資産の部)	
ソフトウェア	14,320	株主資本	1,474,773
電話加入権	969	資本金	600,000
投資その他の資産	17,737	資本剰余金	431,210
敷金及び保証金	1,438	資本準備金	431,210
繰延税金資産	12,738	利益剰余金	443,563
その他	3,559	その他利益剰余金	443,563
		繰越利益剰余金	443,563
		純資産合計	1,474,773
資産合計	3,864,784	負債・純資産合計	3,864,784

損益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		
買取債権回収額	1,662,849	
買取不動産売上高	4,361	
その他の営業収益	6,047	1,673,258
営業費用		
買取債権原価	1,120,371	
買取不動産売上原価	16,033	
販売費及び一般管理費	459,813	1,596,218
営業利益		77,040
営業外収益		
受取利息	1	
その他	8,445	8,446
営業外費用		
支払利息	42,134	
その他	5,866	48,001
経常利益		37,484
税引前当期純利益		37,484
法人税、住民税及び事業税		△9,711
法人税等調整額		18,966
当期純利益		28,229

株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当事業年度期首残高	600,000	431,210	431,210	415,333	415,333
当事業年度変動額					
当期純利益				28,229	28,229
当事業年度変動額合計	-	-	-	28,229	28,229
当事業年度末残高	600,000	431,210	431,210	443,563	443,563

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当事業年度期首残高	1,446,543	1,446,543
当事業年度変動額		
当期純利益	28,229	28,229
当事業年度変動額合計	28,229	28,229
当事業年度末残高	1,474,773	1,474,773

【重要な会計方針】

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
買 取 債 権 個別法による原価法
買 取 不 動 産 買取債権の自己競落又は、債権管理回収業の一環として取得した買取不動産は、個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
2. 固定資産の減価償却方法
有 形 固 定 資 産 定率法
無 形 固 定 資 産 定額法
ソ フ ト ウ エ ア
3. 引当金の計上基準
賞 与 引 当 金 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
4. 重要な収益及び費用の計上基準
買取債権の自己競落により買取不動産を取得した際に発生する買取債権回収差益については、買取不動産売却時まで繰延処理をしております。
5. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等は、「投資その他の資産」の「その他」に計上し、5年間で均等償却しております。なお、控除対象外消費税等は当期の費用として処理しております。
6. 連結納税制度の適用
連結納税制度を適用しております。

【貸借対照表に関する注記】

1. 有形固定資産の減価償却累計額 35,011 千円
2. 関係会社に対する金銭債権債務
短期金銭債権 11,738 千円
長期金銭債権 86 千円
短期金銭債務 14,610 千円
長期金銭債務 2,076,000 千円
3. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

【損益計算書に関する注記】

1. 関係会社との取引高
- | | |
|------------|------------|
| 営業取引 | 152,920 千円 |
| 営業取引以外の取引高 | 42,601 千円 |
2. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

発行済株式の種類及び総数

発行済株式の種類	前事業年度末株式数	当事業年度末株式数
普通株式	90,000 株	90,000 株

【税効果会計に関する注記】

繰延税金資産の主な発生の原因は、貸倒引当金の繰入超過額および賞与引当金の否認額等であります。

【金融商品に関する注記】

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金等の安全性の高い金融資産に限定し、また、資金調達については親会社からの借入のほか、銀行借入による間接調達を行う方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

借入金は、主に運転資金として、変動金利による資金調達を行っております。これらは、金利の変動リスクに晒されております。

当社グループとして、適時にグループ全体の資金管理を行うほか、資金調達手段の多様化、市場環境を考慮した長短の調達バランスの調整などによって、流動性リスクを管理しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預金	73,090	73,090	-
資産計	73,090	73,090	-
長期借入金(*1)	275,000	275,000	-
負債計	275,000	275,000	-

(*1)長期借入金は、親会社からの借入金を含めておりません。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(資産)

現金及び預金

預金は、全て短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(負債)

長期借入金

借入金は、変動金利によるものであり、短期間で市場金利及び信用リスクを反映していることから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
長期借入金(※1)	2,076,000

(※1)アイフル株式会社からの借入金 2,076,000 千円 (2020年3月31日を期限とする総額 4,000,000 千円のコミットメント契約に基づくものであり、契約期限については、期日到来時に更新しております) であり、同契約は極度方式であるため、将来キャッシュフローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価の開示を行っておりません。

3. 長期借入金の決算日後の返済予定

(単位：千円)

区分	1年内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	5年超
長期借入金	100,000	100,000	75,000	—	—

(注) 上記以外の長期借入金は、「2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品」の(※1)に記載の通り、返済予定が決定していないことから記載しておりません。

【関連当事者との取引に関する注記】

親会社

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権の所有 (被所有) の割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	アイフル株式会社	(被所有) 直接 100	資金の援助 役員の兼任	資金の借入(注) 利息の支払(注)	1,520,000 37,050	長期借入金 —	2,076,000 —

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) アイフル株式会社からの資金の借入については、市場金利等を勘案した利率(6ヶ月毎見直し)による極度額契約を締結しております。

【1株当たり情報に関する注記】

1株当たり純資産額 16,386円37銭
1株当たり当期純利益 313円66銭

【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。

【その他の注記】

該当事項はありません。